■本製品注意事項

●万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容(データ)の損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

<一例>

・本機は精密機器ですので、録画中は振動や衝撃を与えないでください。(録画が中断したり、ノイズが記録される場合があります。また、故障の原因となります。)
・他社のDVDレコーダー/ブルーレイディスクレコーダーやパソコンのDVDドライブ/BDドライブで記録したディスクを本機で動作させる
・本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダー/ブルーレイディスクレコーダーやパソコンのDVDドライブ/BDドライブで動作させる
・前述の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる

※故障の場合、HDD／カセットHDDの録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、ブルーレイディスク／DVDにもバックアップするなど、複数のメディアへの保存をおすすめします。
※私的目的に録画したものでも、著作権者等に無断で販売したり、インターネットで公衆に送信すると著作権侵害になります。

●本機の電源を「切」にしている場合、定期的に番組情報などのデータ取得を行います。その間、内部の温度上昇を防ぐためにファンが回ることがあります。
●カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
●他機でフォーマットしたBD-Rは、本機で記録できない場合があります。
●BD-RE/BD-R/DVD-R(VR方式)/DVD-RW(VR方式)または、AVCREC方式のDVD-R/DVD-R　DL(片面2層)記録時に番組が音声多重放送の場合は、主音声と副音声の記録ができます。
●本機で記録したDVD-R/DVD-R　DL(片面2層)/DVD-RWは、ファイナライズした後でもすべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。ご使用いただくDVDプレーヤーやディスク、ディスクの記録状態によっては、再生できない場合があります。
●本機は、マクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによっては、コピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを、ビデオデッキで録画し再生すると、コピーガードシステムにより、正常に再生されません。 BD/DVDはソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。操作中に「禁止マーク」が表示されることがありますが、前述の制限状態にあることを示しています。
●本機は、AACS(Advanced Access Content System)の規定に準拠しているため、市販のブルーレイソフトを再生した場合、アナログ映像出力端子から映像は出力されません。
●コピー制限(「1回だけ録画可能」「ダビング10」)番組は、CPRM(Content Protection for Recordable Media)またはAACSという著作権保護技術に対応した録画機器及びディスクにて録画できます。
●本機でコピー制限(「1回だけ録画可能」「ダビング10」)番組を録画したディスクを、他の機器で再生する場合は、その機器がCPRM方式の著作権保護に対応していないと再生できません。
●DVD- R(CPRM対応ディスクは除く)/DVD-R DL(片面2層、CPRM対応ディスクは除く)/DVD-RW(CPRM対応ディスクは除く)はコピー制限(「1回だけ録画可能」「ダビング10」)番組の録画には対応していません。
●DVD-Video方式のDVD-R/DVD-RW記録時に番組が音声多重放送の場合、主音声か副音声のいずれか一方のみの記録しかできません。
●HDDまたはカセットHDDから高速ダビングする際、一度にダビングする番組数が多くなればなるほど、ダビングに時間がかかります。
●DVD-Rのオーサリング用ディスクへの記録はできません。
●テレビ番組ガイドに表示できる放送局は地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも番組表に放送内容を表示できません。
●本機は、国(発売地域)ごとに割り当てられたリージョン番号が再生専用のディスクに表示されている場合には、ディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。本機のリージョン番号は、DVDは「2」、BDは「A」です。
●以下のディスクは再生できません。

・リージョン番号「A」以外のBDビデオ
・リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD-VIDEO
・PAL方式で記録されたディスク
・本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R/DVD-R DL(片面2層)/DVD-RW(DVD-Video方式)/+R
・DVD-ROM
・DVD-Audio

●SDカードスロットに関して:動画や音声、DCF規格に準拠していない静止画(MOTION JPEGなど)、JPEG形式以外の静止画には対応していません。
●本機とテレビは、直接接続してください。例えば、本機からの映像をビデオデッキなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止機能のはたらきにより画像が乱れる場合があります。

■3D映像を見るときは

本機で3D映像を楽しむときには、以下の点にご注意ください。
また、3D対応テレビや3Dメガネの取扱説明書もお読みください。

●てんかんの可能性、光過敏症の既往症、心臓の疾患がある方、体調不良の方は3D映像の視聴はお控えください。
症状悪化の原因となることがあります。
●3D映像は適正な位置・適正な姿勢で視聴することをお勧めいたします。
●3D(立体)映像を視聴したとき映像が二重に見えたり、立体像が感じにくい場合は、直ちに使用を中止し、表示機器やソフトの設定に間違いがないか確認してください。それでも二重像に見えたり違和感を感じる等、立体視が成立しない場合は、利用を中止してください。
●3D映像の視聴年齢は、6歳以上を目安にしてください。
お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。
●3D映画などを視聴する場合は一作品の視聴を目安に適度に休憩をとるようにしてください。長時間の視聴は視覚疲労の原因となることがあります。
●3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じるときは、視聴を中止してください。
そのまま視聴すると、体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
●薬剤を常用している場合は、映像視聴による影響を強く受ける可能性があります。何らかの異常を感じた場合には使用を中止してください。
●見え方には個人差があります。体調がすぐれないとき、または視聴中に体調の変化を感じたときには視聴をお控えください。

⚠ 安全に関する注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

HDD修理に関するご注意

HDDが故障した場合はHDDの交換修理となります。その場合、HDDの録画内容を新しいHDDに移すことはできません。また、故障したHDDのコンテンツの復旧や補償はできませんので、あらかじめご了承ください。

●価格はオープンプライスです。
●このカタログの内容は、2014年10月現在のものです。
●このカタログの内容は、予告なく変更されることがあります。

●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

お問い合わせは
マクセルお問い合わせ　検索
日立マクセル株式会社　〒102-8521　東京都千代田区飯田橋2-18-2
お客様ご相談センター　TEL(03)5213-3525　FAX(03)3515-8261
http://www.maxell.co.jp
※電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。
正確にご回答するため、通話内容を録音させていただいております。
※受付時間　9:30～12:00/13:00～17:00(土・日・祝祭日および当社休業日を除く)

■マクセル製品取扱店

本カタログは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

マクセルiVDRスロット搭載ブルーレイディスクレコーダーカタログ JA011-1410 2014年10月作成

# maxell

# マクセルiVDRスロット搭載 ブルーレイディスクレコーダー カタログ

2014.10

「ダブルiVスロット」搭載の「アイヴィブルー」新登場!

# 脱常識。

## ブルーレイディスクレコーダーの常識を変えた、
## マクセルのカセットハードディスク「iV（アイヴィ）」。

ブルーレイディスクレコーダーの録画容量を増やす方法は、
概ねＵＳＢ外付けＨＤＤを使うしかない。
USB外付けHDD※を使っても、ブルーレイディスクレコーダーの
録画容量を無制限に増やすことはできない。
USB外付けHDD※に録画した番組の持ち出しには、制限がある。
そして、ブルーレイディスクレコーダーを買い替えたら、
USB外付けHDD※に録画した番組は見られない。
そんな常識を打ち破ったのが、コンテンツ保護技術SAFIAに対応した
マクセルのカセットハードディスク「iV」。
そのカセットハードディスク「iV」に対応した「アイヴィブルー」は、
ハイビジョン録画のスタイルを大きく変える、
マクセルの最新ブルーレイディスクレコーダーです。

※特定規格準拠モデルを除く。

# USB外付けHDD※にできないことが、カセットハードディスク「iV（アイヴィ）」なら、できます。

## ハイビジョン放送の録画番組が持ち出せる。

カセットハードディスク「iV」は簡単に着脱ができるカセット式のHDD。たとえば、録画した番組を別の場所で再生したい時など、iV対応機器があれば、コンパクトなカセットを持ち出して、セットするだけで番組が見られます。

## レコーダーを買い替えても録画番組が見られる。

一般的なUSB外付けHDD※は、デジタル放送番組の著作権を守るために録画したTVやレコーダーでしか録画番組を再生することができません。しかし、コンテンツ保護技術SAFIAに対応したカセットハードディスク「iV」なら、そんな心配は無用。iV対応機器で自由に録画した番組を見ることができるので、レコーダーを買い替えても録画番組が見られます。

## 録画容量が簡単に、無制限に増やせる。

レコーダーにあらかじめ搭載されているHDDと同じ機能を持つHDDをカセット式にしたカセットハードディスク「iV」。録画容量がいっぱいになったら簡単に差し替えて行くことができます。しかも増設台数の制限はなし。もう残量を気にしながら録画する必要はありません。

### 世界に広がる「デジタルコンテンツ保護技術SAFIA（サファイア）」。

持ち運びできる「リムーバブルメディア」の1つ、「カセットハードディスク」には、デジタルコンテンツ保護技術SAFIAに対応した「iVDR-S」と未対応の「iVDR」があり、コピープロテクトがかけられたハイビジョン番組の録画が許されているのは「iVDR-S」だけ。マクセルのカセットハードディスク「iV」は、その「iVDR-S」タイプに当てはまります。カートリッジの規格も、国際標準化機構ISOと国際電気標準会議IECにより国際標準規格として認証された「iVDR-S」カセットハードディスク「iV」は、世界のスタンダードメディアとして、これからもその対応範囲を広げることが期待されます。

※特定規格準拠モデルを除く。

マクセルのカセットハードディスク「iV」だからできた
ブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」。
**その多彩な機能をお確かめください。**

世界初※のコンテンツ保護技術SAFIA対応「iV」採用のブルーレイディスク レコーダーが更に進化。

# 「お好み録画」で録る、「ダブルiV（アイヴィ）スロット」で貯める。思う存分、録画したい人の「アイヴィブルー」新登場。

「あれも録りたい」「これも残したい」。そんなお気に入り番組を
どんどん録り貯めるなら、マクセルのブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」。
内蔵HDD、ブルーレイディスクはもちろん、
録画容量が自由に増やせるコンテンツ保護技術対応のカセットハードディスク「iV」も使用可能。
しかも、BIV-TW1000は、カセットハードディスク「iV」が2つ同時に使える「ダブルiVスロット」を新搭載。
気になる番組を自動録画する「お好み録画」と「ダブルiVスロット」を合わせて使えば、
録画の残り時間を気にすることなく、お気に入り番組をどんどん録り貯めることができます。
3メディア＆4ドライブ・ブルーレイディスクレコーダーはマクセルだけ。
思う存分録り貯めたい人に、新しい「アイヴィブルー」の誕生です。

※ブルーレイディスクレコーダーとして。2013年3月現在。当社調べ。

お好み録画＋ダブルiVスロットで
どんどん録り貯め！

**「ダブルiVスロット」搭載のBIV-TW1000**

＊スケルトン写真はイメージです。

●本カタログ内の製品・機能説明は「BIV-TW1000」を中心に記述されています。「BIV-WS1000」との相違点については、P.13〜P.14の「ラインアップと機能比較」をご参照ください。

# コンテンツ保護技術SAFIA対応のカセットハードディスク「iV（アイヴィ）」だから、ココが便利！

## その1

カセットハードディスク「iV」に録画した番組は、再生専用機「iVプレーヤー」（別売）や日立デジタルハイビジョンプラズマ/液晶テレビWoooなどのiV対応機器でも使えるので、録画した番組を持ち出して楽しめます。

## その2

一般的なUSB外付けHDD※は、録画した機器でしか再生ができません。カセットハードディスク「iV」は、TVやほかのレコーダーなど、カセットハードディスク「iV」対応機器なら録画した番組を楽しむことが可能。レコーダーを買い替えた時なども録り貯めた番組が楽しめます。

※特定規格準拠モデルを除く。

## その3

録画容量が足りなくなりそうになったら、カセットハードディスク「iV」を追加するだけでOK。コンテンツ保護技術SAFIA対応のカセットハードディスク「iV」なら増設台数に制限がないので、録画時間を無制限に増やせます。

## その4

外部入力端子接続、USB端子接続、SDカードスロットから動画をカセットハードディスク「iV」にダビングOK。1TBタイプならブルーレイディスク（25GB）約40枚、DVD（4.7GB）約212枚分の保存が可能。カセットも整理に便利な5色があります。

※放送録画やセルビデオなどの保護されたコンテンツはダビングできません。

# お気に入りを自動で録る、無制限に貯められる。
# 「お好み録画」&「ダブルiV（アイヴィ）スロット」。

自動録画だから、気になる番組はもう見逃さない。

## お好み録画※

「お好み録画」は、気になるジャンルやキーワードを設定するだけで、あてはまる番組を自動的にどんどん録画。これでもう、気になる番組は見逃しません。

### キーワードの設定でお好み番組を自動録画。

「お好み録画」の設定は、キーワードとして興味のあるジャンルやお好きな出演者の名前を入力するだけ。あとは「アイヴィブルー」がキーワードに当てはまる番組を自動録画します。

**「ジャンル」で設定**

たとえば海外ドラマをすべて録画したい時は、「カテゴリー」を選択して「海外ドラマ」のジャンルを選ぶだけ。さまざまな海外ドラマを一気に録画できます。

**「出演者」名で設定**

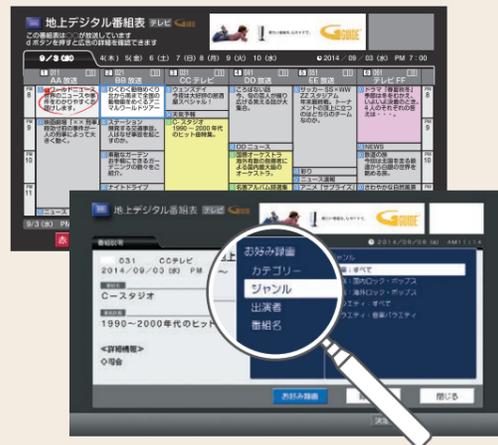
リスト表示から好きな出演者の頭文字、名前と選んで行くだけで設定完了。大好きなタレントが出演している番組を、「アイヴィブルー」がどんどん録り貯めていきます。

**「フリーワード」で設定**

興味があるテーマで番組を録画したい時などは「フリーワード」での設定が便利。「ヨーロッパ　鉄道旅行」などと設定しておけば、該当する番組だけを絞り込んで録画できます。

### 番組表（Gガイド）から簡単に設定。

G GUIDE®

TV画面に表示された番組表（Gガイド）から番組を選び「お好み録画」を設定すると、選んだ番組に関連した条件を備えた番組を自動的に録画します。

※「お好み録画」は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表（Gガイド）などから予約してください。また、内蔵HDDやカセットハードディスク「iV」の録画容量が足りない場合は、自動で古い録画番組から削除されます。

どんどん録れる。ライブラリー作りも簡単。

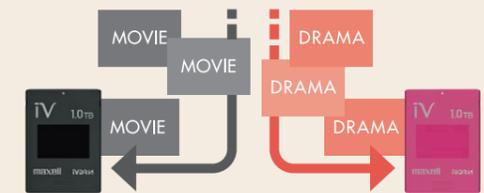
## ダブルiVスロット

2つのカセットハードディスク「iV」を同時に使える「ダブルiVスロット」搭載のBIV-TW1000は、大録画容量を実現。「お好み録画」の機能をフルに活用できます。

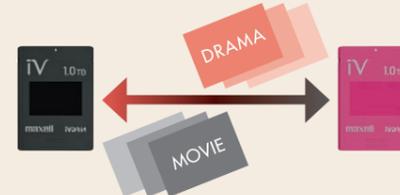
### 録画容量を1TBから3TBへ、一気に拡大する「ダブルiVスロット」。

「ダブルiVスロット」を搭載したBIV-TW1000は、1TBの内蔵HDDと1TBのカセットハードディスク「iV」2つを使った場合、3TBの録画容量を実現。さらに、カセットハードディスク「iV」は無制限に増やせるので、容量不足の心配もありません。

### 「お好み録画」をジャンルで自動振り分け。

「お好み録画」設定時に録画先を「iVDR1」または「iVDR2」に設定しておけば、内容に応じて自動的に振り分けて録画。後で内蔵HDDに録画された番組を探しながらカセットハードディスク「iV」やブルーレイディスクにダビングする手間がありません。

### 「お好み録画」のダビング※1も簡単。

「ダブルiVスロット」は、装着したカセットハードディスク「iV」間のダビングも可能。録り貯めた番組を別の部屋や別の場所で再生したい時※2、「お好み録画」のバックアップなど、「アイヴィブルー」を使って簡単にダビングできます。

※1　著作権保護された番組は「ムーブ」になります。ムーブの場合、ムーブ元の番組は削除されます。※2 再生先にiVDR対応の再生機器が必要です。

### 家族一人ひとりのライブラリー作りもOK。

たとえば、パパとママなど、家族それぞれの「お好み録画」ライブラリーを作りたい。そんな時も「ダブルiVスロット」なら、録画先を指定しておくだけで、家族それぞれのライブラリーが自動的に作れます。

さらに、ブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」なら、

# あれこれ楽しめる！

たとえば、録画した映像をスマートフォンに入れて持ち出したり、
みんなで話題の4K映像を楽しんだり、家族がそれぞれの「Myハードディスク」を持ったり、
といった楽しみ方ができるのは「アイヴィブルー」ならでは。
カセットハードディスク「iV（アイヴィ）」間でのダビング※も簡単に行えます。

※ 著作権保護された番組はムーブになります。ムーブの場合、ムーブ元の番組は削除されます。

DLNA対応だから、無線LANを介してスマートフォンやタブレット機器で録画番組の視聴が可能※。スマートフォンにダビングして持ち出すこともできるので、いつでも、どこでもお気に入りの番組が見られます。

※ すべてのスマートフォンやタブレット機器での動作を保証するものではありません。本機とスマートフォンやタブレット機器を同一ホームネットワークに接続する必要があります。スマートフォンやタブレット機器で視聴するには、アプリケーションソフトを機器にインストールしておく必要があります。アプリケーションソフトの詳細については弊社ホームページをご覧ください。http://www.maxell.co.jp/consumer/audio_visual/biv_tw1000/

4Kアップコンバート出力対応※だからブルーレイディスクソフトの映像を解析して話題の高画質4K解像度にアップコンバート。これまでにない高精細な画質が楽しめます。

※ 対応機種:BIV-TW1000。4Kアップコンバートは、4K/24P出力となります。4K対応テレビ（別売）とHDMIケーブル（別売）での接続が必要です。また、1080/24Pで記録されたブルーレイディスクソフトが必要です。

「アイヴィブルー」（BIV-TW1000）なら、2つのカセットハードディスク「iV」同士のダビングが可能。今、お手持ちのカセットハードディスク「iV」に録画した番組も簡単に整理できます。

# ブルーレイディスクレコーダー「アイヴィ ブルー」ラインアップと機能比較

| | BIV-TW1000 NEW | BIV-WS1000 NEW | BIV-R1021 ※在庫品限り / BIV-R521 ※在庫品限り |
|---|---|---|---|
| ラインアップ | 内蔵HDD容量 1TB / iVDRスロット ×2 | 内蔵HDD容量 1TB / iVDRスロット ×1 | BIV-R1021: 内蔵HDD容量 1TB / iVDRスロット ×1<br>BIV-R521: 内蔵HDD容量 500GB / iVDRスロット ×1 |
| 録画時間 | フルハイビジョン長時間録画［AEモード（12倍モード）］ 最大 約1,089時間※1<br>地上デジタル放送そのまま画質［TSモード］ 最大 約130時間 | フルハイビジョン長時間録画［AEモード（12倍モード）］ 最大 約1,089時間※1<br>地上デジタル放送そのまま画質［TSモード］ 最大 約130時間 | フルハイビジョン長時間録画［AEモード（12倍モード）］ 最大 約1,089時間※1（BIV-R521は最大 約543時間）<br>地上デジタル放送そのまま画質［TSモード］ 最大 約130時間（BIV-R521は最大 約65時間） |
| チューナー数 | 地上DIGITAL ×3 / BS DIGITAL ×3 / 110°CS DIGITAL ×3 | 地上DIGITAL ×2 / BS DIGITAL ×2 / 110°CS DIGITAL ×2 | 地上DIGITAL ×2 / BS DIGITAL ×2 / 110°CS DIGITAL ×2 |
| 同時録画番組数 | 地上/BS/110°CS いずれか 3番組 ＋ スカパー！プレミアムサービスLink 1番組※2 | 地上/BS/110°CS いずれか 2番組 ＋ スカパー！プレミアムサービスLink 1番組※2 | 地上/BS/110°CS いずれか 2番組 ＋ スカパー！プレミアムサービスLink 1番組※2 |

| カテゴリ | 機能 | 内容 | BIV-TW1000 | BIV-WS1000 | BIV-R1021 / BIV-R521 |
|---|---|---|---|---|---|
| 録る P.15-16 | かんたん一発予約 | 画面の番組表からボタンひとつで予約OK。 | ● | ● | ● |
| | 録画番組赤丸表示 | 録画済み番組がひと目でわかる赤丸表示。 | ● | ● | |
| | お好み録画 | ジャンルや出演者で見たい番組を自動録画。 | ● | ● | |
| | 番組かんたん検索 | ジャンルや人名で録りたい番組がすぐわかる。 | ● | ● | ● |
| | スカパー！プレミアムサービス録画※2 | 「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画・ダビング）に対応。 | ● | ● | ● |
| 見る P.17-18 | サムネイル付番組一覧表示 | 録画済み番組を動画サムネイル付きで一覧表示。 | ● | ● | ● |
| | オートチャプター | 録画中、自動的にチャプター境界を記入。 | ● | ● | ● |
| | チャプター自動再生 | 録画済み番組の本編チャプター部分を再生。 | ● | ● | |
| | 4Kアップコンバート出力 | ブルーレイディスクソフトの映像を話題の4Kで。 | ● | | |
| 使う P.19-20 | 使いやすいリモコン | 操作ボタンを大きくした使いやすいリモコン。 | ● | ● | |
| | 色分け番組表 | 番組表をジャンルで色分け。 | ● | ● | |
| | 見やすいGUI | 使う機能で色分けした見やすいインターフェイス。 | ● | ● | |
| | カンタンメニュー | 初めてのレコーダーでも迷わず使えるガイド付き操作メニュー。 | ● | ● | |
| | iVに名前付け | Myハードディスクを名前で管理。 | ● | ● | |
| | 高速起動 | 電源を入れて約1秒で起動。 | ● | ● | ● |
| 残す P.21-22 | 多彩なダビング | 録画メディア間での自由なダビング。 | ● | ● | ● |
| | チャプター編集 | 自動的に作成されるチャプターを使って自由に編集。 | ● | ● | ● |
| | USB接続 | ムービーカメラに記録された動画も再生可能。 | ● | ● | |
| | SDカード | デジタルカメラに記録された写真や動画も再生可能。 | ● | ● | ● |
| | アナログ入力端子 | VHSビデオデッキからのダビングを可能にする外部入力端子。 | ● | ● | ● |
| つなぐ P.23 | スマートフォン/タブレット連携 | 録画した番組をスマートフォンやタブレット機器で視聴OK。 | ● | ● | |
| | DLNA | 対応のテレビやパソコンとホームネットワークを構築可能。 | ● | ● | |
| | 無線LAN内蔵 | かんたんWi-Fi接続。 | ● | | |

※1 長時間録画モードにするほどノイズが目立つなど画質は劣化します。画質の劣化は録画する映像の内容によって異なります。録画時間は目安です。録画される映像の内容やその他の条件により、表記の録画時間とは異なる場合があります。※2 スカパー！　プレミアムサービスのチューナーと視聴契約が必要です。

# さらにわかりやすく、簡単に。気配り「録る」機能。

「好きな番組を手間なくライブラリーにしたい」「録画予約は簡単な方がいい」。
そんな声に応えてマクセルは、「アイヴィブルー」に
ライブラリー作りや録画予約にうれしいさまざまな気配り機能を満載しました。

録画予約はワンタッチで完了。

## かんたん一発予約※

予約の際の面倒な操作なしに録画予約できるのが「かんたん一発予約」。番組表（Gガイド）を表示して、あとは番組を選んで録画ボタンを押すだけで予約が完了。どなたでも簡単に、録りたい番組をしっかり予約できます。

※「一発予約」の録画先は内蔵HDDまたはカセットハードディスク「iV」に限られます。

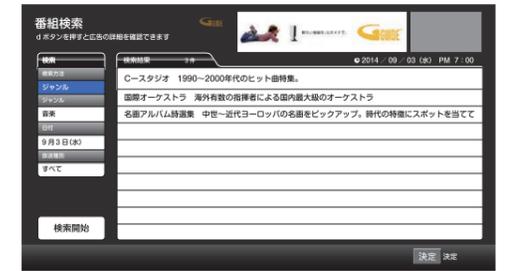
見やすい、探しやすい。予約した番組もすぐわかる。

## 色分け番組表&録画番組赤丸表示

ジャンルごとに色分けした番組表（Gガイド）を採用。お好きなジャンルの番組がすぐに見つかります。また、予約した番組は赤丸で囲まれているので、すぐに確認が可能。出勤前の忙しい時間帯などでも簡単に確認できます。

録りたい番組がすぐに見つかる。

## 番組かんたん検索

録りたい番組のジャンルや出演者名、さらにフリーワードで、すぐにお目当ての番組が見つかる「番組かんたん検索」を搭載。また、「Gガイド番組情報」を使えば、新番組や特番、話題の注目番組をパッと表示。関連する番組まで、録り逃すことがありません。

見たい番組をどんどん録って、手間なくライブラリーに。

## お好み録画

好きなタレントや気になるジャンルを登録するだけで、当てはまる番組を自動で録画する「お好み録画」。録画先をカセットハードディスク「iV（アイヴィ）」に設定しておけば、録画後に分類やダビングの手間をかけることなくMyライブラリーが完成します。

# 録り方いろいろ、スカパー！プレミアムサービスも録れる。

録りたい番組が重なっても安心。

## 4番組同時録画※

スカパー！プレミアムサービスと合わせて4番組同時録画

ご家族で録りたい番組が重なった時も「アイヴィブルー」は、地上デジタル/BS/CSの内から3番組、スカパー！プレミアムサービス1番組、合わせて4番組の同時録画が可能。録画先は内蔵HDD、カセットハードディスク「iV」、ブルーレイディスクが選べます。

×3＋

※ 対応機種:BIV-TW1000。BIV-WS1000の同時録画は地上デジタル/BS/CSの内から2番組、スカパー！プレミアムサービス1番組です。また、スカパー！プレミアムサービスの録画先は、内蔵HDDまたはiVに限られます。

スカパー！プレミアムサービスが録れる、楽しめる。

## 「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画・ダビング）対応※

映画やスポーツ、ドラマなど、およそ270チャンネルで番組を提供するスカパー！プレミアムサービスのLAN録画/LANダビングに対応。ハイビジョン番組はハイビジョン画質で、標準画質番組は標準画質で録画できます。※スカパー！プレミアムサービスのチューナーと視聴契約が必要です。

最大12倍の長時間録画。

## 選べる録画モード

内蔵ハードディスクドライブでも、カセットハードディスク「iV」でも 最大12倍長時間録画

録画モードは、放送そのままの画質で録画するTSモードから最大12倍のAEモード（圧縮変換したハイビジョンモード）まで選択可能。録画メディアの容量に合わせて録画できます。もちろん、カセットハードディスク「iV」に直接録画する場合も長時間録画が可能です。

録画可能時間の残量は、もう気にしない。

## カセットハードディスク「iV」対応

「録画したいのに、内蔵HDDの残量が足りない！」。そんな時は「iV」スロットにカセットハードディスク「iV」をセットすることで解決。ダブルスロットのBIV-TW1000ならカセットハードディスク「iV」を同時に2個使用できます。もちろん、カセットは無制限に増やせるので、内蔵HDDの残量はもう気になりません。

※スカパー！プレミアムサービスの録画にはチューナーと視聴契約が必要です。 ※スカパー！プレミアムサービスの2番組を同時に録画することはできません。 ※スカパー！プレミアムサービスの番組を録画中は、市販のブルーレイビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。
※時間を連続して録画予約をする場合、前の予約の終了部分が最大約1分録画されません。 ※予約した番組の直前の放送に視聴制限があった場合や「録画禁止」の番組、放送休止中の番組だった場合、冒頭の数秒間が録画されない場合があります。 ※ラジオ放送、データ放送は録画できません。

# だから見やすい、見つけやすい。ラクラク「見る」機能。

「録り貯めたお気に入り番組は、すぐにでも見てみたい」。
そんなTVファンのためにマクセルは、「アイヴィブルー」に
もっと簡単に、もっと便利に見られる機能をたくさん盛り込んでいます。

録画した番組がすぐに探せる。

## サムネイル付番組一覧表示

リモコンの「見る」ボタンを押すだけで、録画した番組リストを表示。各番組には動画サムネイルが付いているので、内容が一目瞭然です。しかも、まだ見ていない番組は「NEW」マーク、お好み録画した番組は「お好み」マーク付きで表示。まだ見ていない番組が簡単にわかります。

見たいシーンがすぐに見つかる。

## オートチャプター※

「チャプター」とは、録画中の番組に刻まれる「境界」を示す信号。「アイヴィブルー」は、自動でこのチャプターを記録することができます。チャプターがあれば、後で編集するときに便利。目的の場面に瞬時にアクセスすることができます。

※オートチャプターは内蔵HDD録画およびカセットハードディスク「iV」にのみ有効な機能です。

見たい録画済み番組の本編チャプター部分を通しで再生。

## チャプター自動再生

「お気に入りの番組は通しで見たい」。そんな時「チャプター自動再生」の設定を「ON」にすれば、再生時は本編チャプター部分を通して鑑賞可能。流れを損なうことなく番組を満喫できます。

# 都合に合わせて選べる再生。

音声付きで1.3倍速再生。

## 時短再生

「録画した番組が見たいのに時間がない！」そんな時は「時短再生」が便利。再生中、もう一度「再生」ボタンを押せば再生スピードを1.3倍にするので、1時間番組なら約46分で見られます。しかも、音声付きなので内容もしっかり把握。ニュースやスポーツ番組などに特にうれしい機能です。

再生中、もう一度 再生 を押せば \1.3倍速再生/

録画を止めずに最初から見る。

## 追っかけ再生

予約した番組の録画中、録画を止めずに最初から番組が見られるのが「追っかけ再生」です。すでに録画済みの部分は早見再生や早送り操作も可能。録画の終了が待ちきれない。そんな時に便利にお使いいただけます。

# 最新の映像方式にも、もちろん対応。

「アイヴィブルー」で見られる話題の4K。

## 4Kアップコンバート出力対応※

4Kアップコンバート出力に対応したことで、16ビット相当の諧調表現を可能にした「アイヴィブルー」は、ブルーレイディスクソフトをフルハイビジョンの4倍に相当する高精細映像で再生可能。細部まで美しい最先端映像をいち早く体験できます。

従来の再生画質

4K画質

※対応機種:BIV-TW1000。4Kアップコンバートは、4K/24P出力となります。4K対応テレビ（別売）とHDMIケーブル（別売）での接続が必要です。また、1080/24Pで記録されたブルーレイディスクソフトが必要です。

大迫力の映像をご家庭で体感。

## ブルーレイ3D™再生※

「飛び出す画面」で話題の3D映像。「アイヴィブルー」は、このブルーレイ3D™にも対応。映画やCGを駆使したアニメーションなど、大人からお子様までを魅了する大迫力の3D映像を、ご家庭でお楽しみいただけます。

※ブルーレイ3D™に対応したディスプレイ、メガネ等が必要です。市販のブルーレイソフトを再生した場合、アナログ映像出力端子から映像は出力されません。

# 迷わせない。もう迷わない。
# 人にやさしい「使う」機能。

機械が苦手な方は、ちょっとためらってしまうレコーダーの操作。
そこでマクセルは、画面表示にも、リモコンにもひと工夫。
録画はもちろん、視聴やダビングなど、もう迷わず操作できます。

ボタンが大きくて押しやすい。

## 使いやすいリモコン

見やすく、ボタンが大きくて押しやすいリモコン。レコーダー本体の操作だけでなく、TV電源のON/OFF、チャンネル選局など、TVの操作もできます。また、iV(アイヴィ)機器ユーザーには便利な3つのリモコンコードを搭載しました。

録画の前に簡単確認。

## 残量確認ボタン

視聴中の番組を録画する場合は、録画モードに合った録画領域を確認する必要があります。こんな時、役に立つのが「残量確認ボタン」。ボタンのワンプッシュでそれぞれの録画メディアの残量が表示されるので、それに収まる録画モードで録画することができます。

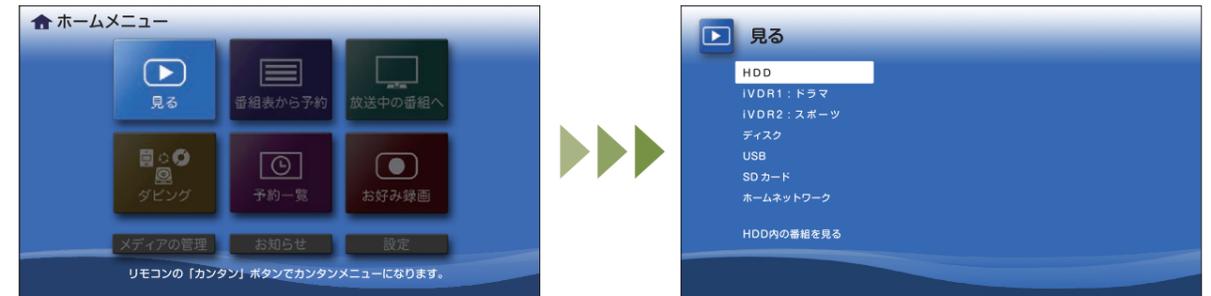
機能探しのスタートライン。

## ホームボタン

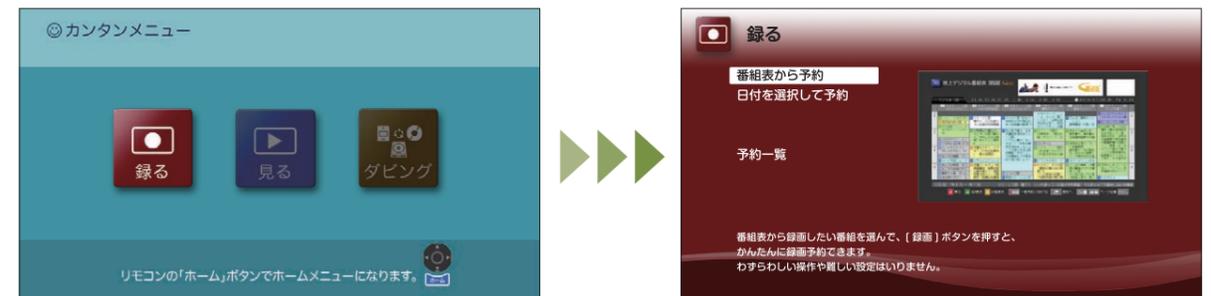
使いやすい大きめのボタンを採用したリモコンの中心部にある「ホームボタン」を押すだけで、使える機能がアイコンで選べるホームメニューを表示。あれこれ迷うことなく、使いたい機能をすぐに見つけることができます。

操作方法をわかりやすく伝える。

## 使いやすいGUI

したいことをするために、次はどうしたらいいかを使う人に伝えるGUI(グラフィカル・ユーザーインターフェース)。「アイヴィブルー」にはシンプルなアイコンと機能別に色分けしたGUIを採用しました。だから録画も視聴も、ホームボタンを押してアイコンを選んで行くだけでOK。TVライフの楽しさを、むずかしさで妨げることがありません。

初めてのレコーダーでも迷わず使える。

## カンタンメニュー

初めてのレコーダーで操作方法がわからなくても、迷わず使える「カンタンメニュー」。リモコンの「カンタン」ボタンを押すと「カンタンメニュー」を表示。ガイド付きだから録画予約や視聴が簡単に操作できます。

## あるとうれしい気配り機能。

Myハードディスクを名前で管理。

## 「iV」に名前付け

「アイヴィブルー」で使うカセットハードディスク「iV」には「パパ用」「ママ用」、「ドラマ」「スポーツ」など、自由に名前が付けられます。記録された名前は操作画面に表示されるので、録画番組をうっかり消してしまったり、番組が混ざったりということを防げます。

お待たせしないで、すぐ起動。

## 約1秒の高速起動※

マクセルの「アイヴィブルー」は電源ONの後、約1秒で起動完了。すぐに録画した番組が見たい、すぐに録画したいなど、ピッと電源を入れればパッと起動。スピーディーなTVライフに応えます。

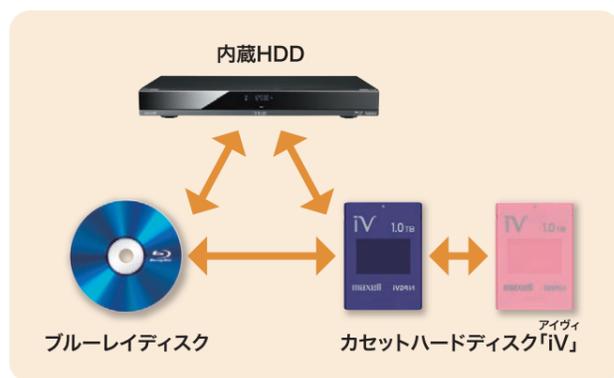
※高速起動設定時間帯のみ。機器の状態により異なることがあります。

# 幅広いメディア対応力が自慢。しっかりと「残す」機能。

レコーダーの機能として、忘れてならないポイントがダビング機能です。
マクセルは、「アイヴィブルー」に幅広いダビング対応力を凝縮。
メディアからメディアへ、より自由に、より自在なダビング環境を提供します。

録画メディアの壁を超えて。

## 多彩なダビング

通常の内蔵HDD、ブルーレイディスク用ドライブに加え、「ダブルiVスロット」を搭載したBIV-TW1000は、これら4つのドライブ間での自在なダビングが可能。だから、ブルーレイディスクの再生機器があるお部屋用のディスクを作ったり、カセットハードディスク「iV」が使える場所用や、持ち出し用のカセットハードディスクを作るなども簡単。多彩なダビング能力は、ご利用中の機器や視聴のスタイルに合わせて、お好みの録画メディアにダビングしながら、録り貯めた大切な映像をしっかり残します。

ライブラリー作りが簡単に。

## マクセルだけのダブルiVスロット

ランダムに録り貯めたカセットハードディスク「iV」から同じ番組だけを取り出し、別のカセットハードディスク「iV」でライブラリー化する。そんな時に威力を発揮するのがBIV-TW1000に搭載した「ダブルiVスロット」。2つのカセットハードディスク「iV」間で自由にダビングできる新しい「アイヴィブルー」です。

ムービー/デジタルカメラからダビング。

## USB接続/SDカード接続

「USB接続」により、ムービーカメラに録画した大切なシーンを大画面TVで再生したり、内蔵HDDにダビングして編集することも可能。また、「SDカード接続」で、デジタルカメラに記録された写真の再生や動画取り込みもできます。

VHSテープに録画された思い出も。

## アナログ入力端子

大切な映像がVHSテープに録画されている場合は、VHSビデオデッキを「アイヴィブルー」背面の「アナログ入力端子」に接続。カセットハードディスク「iV」やブルーレイディスクなど、コンパクトな録画メディアにダビングできます※。

※放送録画やセルビデオなどの保護されたコンテンツはダビングできません。

# 簡単編集。迅速ダビング。

ディレクター気分で映像編集。

## チャプター編集

録り貯めた番組や映像をダビングで1つのメディアにまとめる時、便利なのが「チャプター編集」。映像の不要な部分を削除する、連続番組や映像のつなげたいシーンを結合するなど、自由な編集ができる「チャプター編集」は、オリジナルのライブラリー作りなど、ひと味違ったダビングを楽しめます。

待ち時間を大きくセーブ。

## 高速ダビング※1

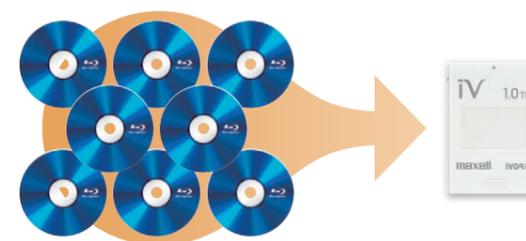
内蔵HDDに録画した1時間番組をカセットハードディスク「iV」※2に高速ダビングする場合、TSモード（地デジHD放送）なら約7分、AEモード（12倍モード）なら約1分30秒でダビングできます。

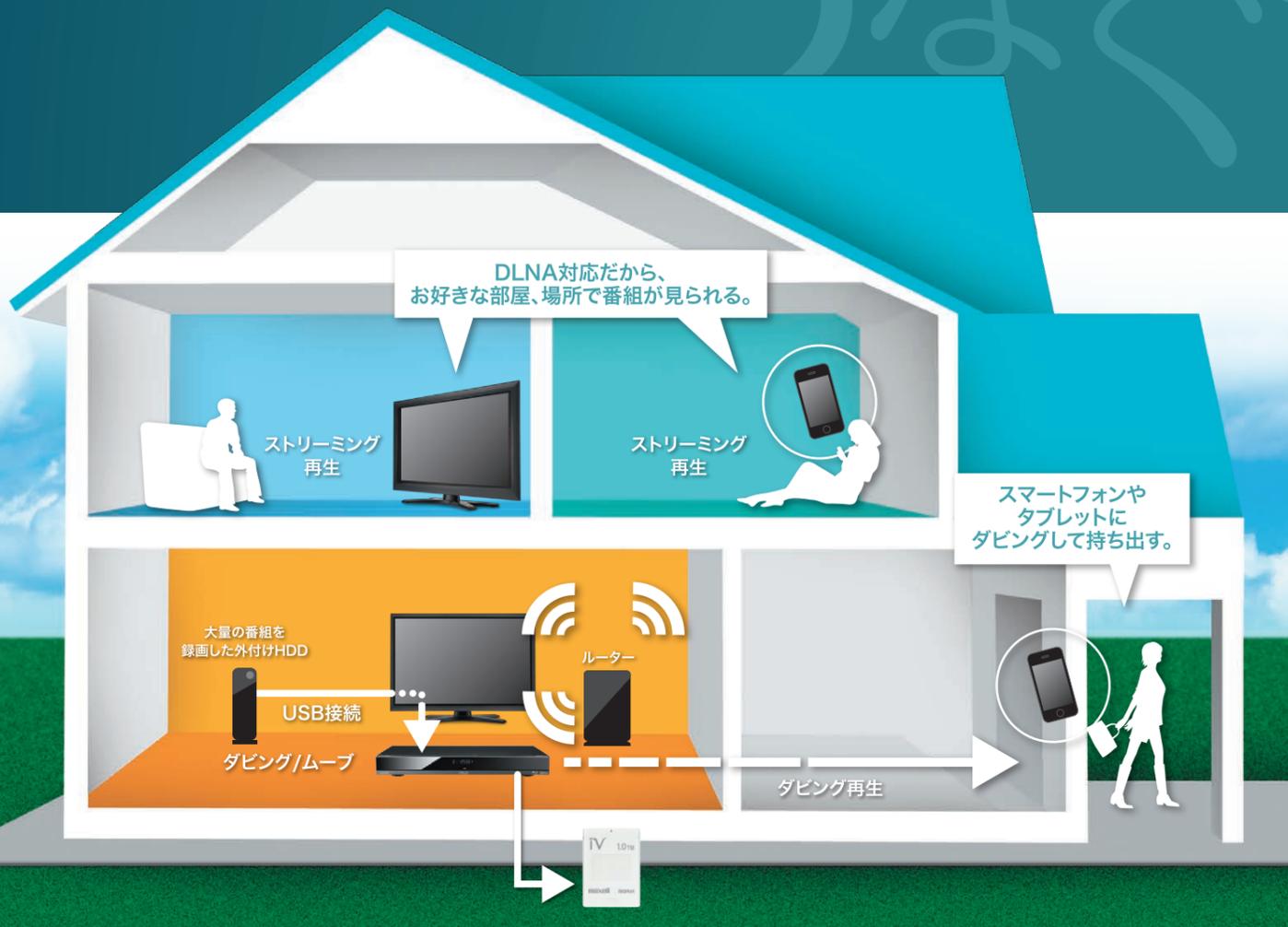
※1 高速ダビング中に内蔵HDDの録画や再生をすると所要時間が延びることがあります。
※2 M-VDRS500G.E使用時。

ディスクメディアからカセットハードディスク「iV」へ。

## ムーブバック※

たとえば連続ドラマなど、ブルーレイディスクやDVDなど、別のメディアに録画してあったものは、それぞれのディスクメディアからカセットハードディスク「iV」に直接ダビングする「ムーブバック」が可能。連続ものを1巻にまとめれば、後から見る時に便利です。

※コピーフリー番組はダビングとなります。また、DVDからのムーブはできません。ムーブバックすると、ムーブ元のブルーレイディスクの番組は削除されます。

# ネットワークで「つながる」機能。

これからのレコーダーに欠かせないネットワーク機能。
DLNAを使ってお好きな部屋で番組を見る、録画した番組をスマートフォンで持ち出すなど、
「アイヴィブルー」ならお好みのままです。

お好きな部屋で番組を見る。

## DLNA対応[※1]

「今日は自室で番組が見たい」。そんな時は、ホームネットワークに「アイヴィブルー」とDLNA対応のTVやパソコンをつなげば、家中のお好きな部屋、お好きな場所で番組の視聴が可能です。また「アイヴィブルー」を使って対応機器内の番組を視聴することもできます。

USB外付けHDDの番組もカセットハードディスク「iV」に。

## DLNAムーブIN機能

DLNAムーブIN機能の搭載で、DLNAムーブOUTに対応した機器であれば、録画した機器でしか再生できない一般的なUSB外付けHDDに録画した番組も、コンテンツ保護技術対応のカセットハードディスク「iV」にダビングできるので、番組持ち出しが可能です。

お気に入り番組を外出先で見る。

## スマートフォン/タブレット連携[※2]

スマートフォンやタブレット機器で録画した番組や放送中の番組を見られます。また、録画した番組をスマートフォンにダビングして持ち出すことも可能。いつ、どこでもお気に入りの番組が楽しめます。

かんたんWi-Fi接続

## Wi-Fi対応無線LAN内蔵

無線LANを内蔵したBIV-TW1000なら、わずらわしい配線なしでネットワーク機能が利用できます。

※1 録画したデジタル放送番組の再生等には、DTCP-IP(著作権保護)に対応した機器、またはアプリケーションソフトウェアが必要です。すべてのホームネットワークで動作を保証するものではありません。※2 本機とスマートフォンやタブレット機器を同一ホームネットワークに接続する必要があります。スマートフォンやタブレット機器で視聴するには、アプリケーションソフトを機器にインストールしておく必要があります。アプリケーションソフトの詳細については弊社ホームページをご覧ください。http://www.maxell.co.jp/consumer/audio_visual/biv_tw1000/ すべてのスマートフォンやタブレット機器での動作を保証するものではありません。

# さらに広がる「iV(アイヴィ)」ワールド。

「アイヴィブルー」には、カセットハードディスク「iV」やその再生専用機「iVプレーヤー」までの周辺機器をラインアップ。
自由に録画し、見られる、楽しい「iV」ワールドが広がります。

整理に便利な5色を用意。

## カセットハードディスク「iV」

「アイヴィブルー」のスロットにセットするだけで、自由に録画容量が増やせる5色のカセットハードディスク「iV」。ご家族ごとに、あるいは録画するジャンルごとなど、色分けで便利にお使いいただけます。

| 記憶容量 | 色 | 入数 | 型番 |
|---|---|---|---|
| 1TB | ホワイト | 1 | M-VDRS1T.E.WH |
| | ブラック | 1 | M-VDRS1T.E.BK |
| | ホワイト | 2 | M-VDRS1T.E.WH2P |
| | カラーミックス※ | 3 | M-VDRS1T.E.MX3P |
| 500GB | ホワイト | 1 | M-VDRS500G.E.WH |
| | ブラック | 1 | M-VDRS500G.E.BK |
| | ホワイト | 2 | M-VDRS500G.E.WH2P |
| | カラーミックス※ | 3 | M-VDRS500G.E.MX3P |
| iVハードケース | – | 1 | M-VDRS.HC |

※カラーミックスはブルー、マゼンタ、ピンクです。

ホワイト
ブラック
ブルー
マゼンタ
ピンク

持ち出して、お好きな場所でハイビジョン。

## iV player

iVDR再生専用機
iVプレーヤー「VDR-P300」

2014年内
発売予定

iVDRスロットを搭載していないTVに「iVプレーヤー」をつなげば、カセットハードディスク「iV」に録画した番組の視聴が可能。寝室や子供部屋などはもちろん、外出先でも録画番組が楽しめます。さらに、写真のスライドショー再生やDLNA対応など、多彩な機能を搭載したプレーヤーです。
●外形寸法:幅280×高さ39×奥行198(mm)●質量:約1.1kg

ワイドプリント対応のレーベルを採用。

## 録画用ブルーレイディスク
## BD-R(1~4倍速)/BD-RE(1~2倍速)

●ムラのない鮮やかな印刷が可能なレーベルを採用。
●高性能記録膜を採用し、優れた記録・再生・保存特性を実現。

## ■主な仕様

| モデル名 | BIV-TW1000 | BIV-WS1000 |
|---|---|---|
| 一般 | | |
| 電源 | AC100V 50/60Hz | |
| 消費電力(定格) | 29W | 26W |
| 年間消費電力量 | 24kWh/年 | 22kWh/年 |
| 許容動作温度 | 5～40℃ | |
| 許容湿度 | 80%最大(結露なきこと) | |
| 外形寸法 | 430(幅)×55.9(高さ)×277.7(奥行)mm(突起部含む) | 430(幅)×55.9(高さ)×271.2(奥行)mm(突起部含む) |
| 質量 | 3.0kg | |
| HDD/ブルーレイディスク部 | | |
| 録画方式(ブルーレイディスク) | Blu-ray Disc™ Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format準拠 | |
| 録画方式(DVD) | DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC™規格準拠 | |
| 内蔵HDD容量 | 1TB | |
| 録画圧縮方式 | MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264 | |
| 録音圧縮方式 | ドルビーデジタル、リニアPCM(非圧縮)、MPEG-2 AAC、MPEG-1 audio layer2 | |
| 録画可能メディア | 内蔵HDD、カセットHDD(iVDR)、BD-RE(SL/DL、BDXL TL)Ver.2.1、3.0 高速記録:2倍速まで、<br>BD-R(SL/DL、BDXL TL/QL※)Ver.1.1、1.2、1.3、2.0　高速記録:6倍速ディスクまで<br>※2014年9月現在、4層に対応したBD-R(BDXL QL)は市販されておりません。 | |
| 再生可能メディア | 【ビデオ】内蔵HDD、カセットHDD(iVDR)、BD-RE(SL/DL、BDXL TL)Ver.2.1、3.0 、BD-R(SL/DL、BDXL TL/QL※1)<br>Ver.1.1、1.2、1.3、2.0、BD-Video、DVD-RW※2(VR/AVC/Video)、DVD-R※2(VR/AVC/Video)<br>【音楽】JIS規格に合致した音楽用CD　【フォト】BD(JPEG)、DVD(JPEG)、CD(JPEG)、SD(JPEG)<br>※1 2014年9月現在、4層に対応したBD-R(BDXL QL)は市販されておりません。　※2 ファイナライズ済みのDVD-RW/-R(2層ディスク含む) | |
| リージョンコード | ブルーレイディスク:Region A　DVD:♯2 | |
| チューナー部 | | |
| 受信チャンネル | 地上デジタル:VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63) | |
| | BSデジタル:BS000～BS999チャンネル | |
| | 110度CSデジタル:CS000～CS999チャンネル | |
| 端子部 | | |
| 映像入力 | ピンジャック　1.0V(p-p)　75Ω　×1 | |
| 映像出力ピンジャック | 1.0V(p-p)　75Ω　×1 | |
| HDMI出力 | HDMI端子　19ピン　Type A　×1 | |
| 音声入力 | ピンジャック　2V(rms)　47kΩ不平衡　×1 | |
| 音声出力 | ピンジャック　2V(rms)　1.0kΩ不平衡　×1 | |
| デジタル音声出力 | 光コネクター　角型光ジャック　×1 | |
| SDカードスロット | SDカード、SDHCカード、SDXCカード対応(miniSDカード、microSDカードは市販のアダプター装着で使用可能)　×1 | |
| USB端子 | USB2.0準拠　Type A　DC5V　最大500mA　×1 | |
| iVDRスロット | iVDRコネクタ(SATA仕様)26ピン | |
| | ×2 | ×1 |
| LAN(10/100) | 10BASE-T/100BASE-TX　×1 | |
| 地上デジタル入出力 | 75Ω　F型コネクタ　×1 | |
| BS・110度CS入出力 | 75Ω　F型コネクタ(入力側のみ最大DC15V、4W)　×1 | |
| 無線 ※BIV-TW1000のみ | | |
| 規格 | IEEE 802.11a/b/g/n (J52は非対応)、ARIB STD-T71(5GHz帯)、ARIB STD-T66(2.4GHz帯) | |
| 伝送方式 | IEEE 802.11b:DSSS(DBPSK、DQPSK、CCK)、<br>IEEE 802.11a/g:OFDM(BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM)、IEEE 802.11n:OFDM(BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM) | |
| 周波数範囲 | 2.412～2.472GHz (Subject to Local Regulations)、5.180～5.700GHz (Subject to Local Regulations) | |
| 動作モード | インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応しておりません。) | |
| セキュリティ | WEP 64bit/128bit、WPA、WPA2 | |

●仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。●メディアの容量は、1GB=10億バイトとして計算しています。
●デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について　● 地上デジタル(HD放送): 17Mbps　● BSデジタル(HD放送): 24Mbps　● BSデジタル(SD放送): 12Mbps

## ■背面端子レイアウト

BIV-TW1000

BIV-WS1000

①映像入力端子/音声入力端子　②光デジタル音声出力端子　③BS・110度CS入力/出力端子　④地上デジタル入力/出力端子　⑤無線LANユニット(BIV-TW1000のみ)　⑥LAN端子　⑦冷却用ファン　⑧電源コード　⑨映像出力端子/音声出力端子※　⑩HDMI出力端子

※ 市販のブルーレイソフトを再生した場合、アナログ映像出力端子から映像は出力されません。

(BIV-TW1000 のみ)

## ■著作権および商標について

●コンテンツ保護されたディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/ またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび/ またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
●本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
●本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
●Copyright 2004-2014 Verance Corporation.Cinavia™はVerance Corporationの商標です。米国特許第7,369,677号およびVerance Corporationよりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利はVerance Corporationが保有します。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
●For DTS patents, see http://patents.dts.com.Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

●Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray(ブルーレイ)、Blu-ray 3D™(ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
●"DVD Logo"はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
●HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
●スカパー!および「スカパー!プレミアムサービスLink」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です。
●OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
●"AVCHD 3D/Progressive"および"AVCHD 3D/Progressive"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●"x.v.Color"および"x.v.Color"ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●「iVDR」とiVDR Sは、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
●DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED® are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
●本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
© 1996-2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™　NetFront® Browser DTV Profile

●その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

## ■モード別録画時間の目安※1

| 記録される画質 | 録画モード | | 内蔵HDD BIV-TW1000/BIV-WS1000/BIV-R1021(1TB) | 内蔵HDD BIV-R521(500GB) | iVDR(カセットHDD)※2 iVDR(1TB) | iVDR(カセットHDD)※2 iVDR(500GB) | BD-RE/BD-R BDXL片面3層(100GB) | BD-RE/BD-R 片面2層(50GB) | BD-RE/BD-R 1層(25GB) | DVD-RW/DVD-R※3 片面2層(8.5GB) | DVD-RW/DVD-R※3 1層(4.7GB) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送そのままの画質 | TS | 地上デジタル(HD放送:17Mbps) | 約130時間 | 約65時間 | 約130時間 | 約65時間 | 約12時間 | 約6時間 | 約3時間 | — | — |
| | | BS/CSデジタル(HD放送:24Mbps) | 約92時間 | 約46時間 | 約92時間 | 約46時間 | 約8時間40分 | 約4時間20分 | 約2時間10分 | — | — |
| | | 地上/BS/CSデジタル(SD放送:12Mbps) | 約184時間 | 約92時間 | 約184時間 | 約92時間 | 約17時間20分 | 約8時間40分 | 約4時間20分 | — | — |
| | スカパー!プレミアムサービス※4 | ハイビジョン番組 | 約240時間(約130～300時間) | 約120時間(約65～150時間) | 約240時間(約130～300時間) | 約120時間(約65～150時間) | — | — | — | — | — |
| | | 標準画質番組 | 約720時間(約270～1,080時間) | 約360時間(約135～540時間) | 約720時間(約270～1,080時間) | 約360時間(約135～540時間) | — | — | — | — | — |
| 放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質 | AF | 2倍モード | 約171時間 | 約85時間 | 約171時間 | 約85時間 | 約16時間 | 約8時間 | 約4時間 | 約1時間20分 | 約42分 |
| | AN | 3倍モード | 約257時間 | 約128時間 | 約257時間 | 約128時間 | 約24時間 | 約12時間 | 約6時間 | 約2時間 | 約1時間5分 |
| | AS | 4倍モード | 約367時間 | 約183時間 | 約367時間 | 約183時間 | 約36時間 | 約18時間 | 約9時間 | 約3時間5分 | 約1時間40分 |
| | AL | 5.5倍モード | 約504時間 | 約251時間 | 約504時間 | 約251時間 | 約49時間 | 約24時間 | 約12時間 | 約4時間10分 | 約2時間10分 |
| | AE | 12倍モード | 約1,089時間 | 約543時間 | 約1,089時間 | 約543時間 | 約107時間 | 約53時間 | 約26時間 | 約9時間 | 約5時間 |
| 標準画質※5 | XP | 1時間モード | 約231時間 | 約115時間 | 約232時間 | 約116時間 | 約22時間 | 約11時間 | 約5時間15分 | — | 約1時間 |
| | SP | 2時間モード | 約461時間 | 約230時間 | 約462時間 | 約231時間 | 約44時間 | 約22時間 | 約10時間30分 | — | 約2時間 |
| | LP | 4時間モード | 約925時間 | 約462時間 | 約927時間 | 約463時間 | 約88時間 | 約44時間 | 約21時間 | — | 約4時間 |
| | EP | 6時間モード | 約1,363時間 | 約680時間 | 約1,365時間 | 約682時間 | 約132時間 | 約66時間 | 約32時間 | — | 約6時間 |
| | | 8時間モード | 約1,823時間 | 約910時間 | 約1,825時間 | 約912時間 | 約176時間 | 約88時間 | 約43時間 | — | 約8時間 |

※1 長時間録画モードにするほどノイズが目立つなど画質は劣化します。画質の劣化は録画する映像の内容によって異なります。録画時間は目安です。録画される映像の内容やその他の条件により、表記の録画時間とは異なる場合があります。※2 R1021/521はカセットHDDへデジタル放送を直接録画する場合の録画モードはTSのみになります。AF～AEはダビング時のみ選択可能です。※3 ディスクにより選べる録画モードが異なります(DVD-RW(AVC)/DVD-R(AVC)の場合:AF～AE、DVD-RW(VR)/DVD-R(VR)またはDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)の場合:XP～EP)。DVDへデジタル放送を直接録画することはできません。内蔵HDDに録画してからダビングしてください。※4 スカパー!プレミアムサービスのチューナーと視聴契約が必要です。※5 TW1000/WS1000ではデジタル放送を直接標準画質(XP～EP)で録画することはできません。

●HDDに録画モードをAF～AEにして録画する場合、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。その場合、録画モードをTSに切り換えて録画されます。(録画終了後、HDDに空き容量があるときの電源「切」時に設定した録画モードに変換されます。
●HDD、カセットHDD、BD-RE/-Rへ外部入力(L1)を直接録画する場合の録画モードは、XP～EPのみとなります。
●カセットHDDに録画モードTS以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。
●表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠録画基準画像」を用いて確認しております。
●録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。
●本機は、効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
●地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のSD放送は、録画モードTS、AF～AEで録画しても標準画質で録画されます。
●番組によって転送容量が異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
●スポーツ、音楽ライブ番組などの動きや明るさの変化が激しい番組の場合、録画モードをAEなどにして録画すると、ブロックノイなどが目立つことがあります。
●EPは、"本体設定"メニューの"録画設定"→"EPモード"の設定によって録画できる時間が変わります。
●ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングするタイトルの合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
●1番組あたりの連続録画可能時間は、最大8時間です。(連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。)